



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月8日

上場会社名 ドリームベッド株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7791 URL <https://www.dreambed.co.jp>  
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）三宅 弘人  
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）小尻 泰史 TEL 082 (271) 4201  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月2日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	5,379	17.7	290	288.6	278	59.7	185	66.1
2024年3月期中間期	4,572	△2.7	74	△66.7	174	△20.9	111	△22.4

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	45.54	—
2024年3月期中間期	27.26	—

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	10,550	4,325	41.0
2024年3月期	10,761	4,221	39.2

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 4,325百万円 2024年3月期 4,221百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2025年3月期	—	16.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	16.00	32.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	8.2	350	83.0	340	10.7	240	△5.9	58.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 中間財務諸表に関する注記事項 (中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年3月期中間期	4,152,820株	2024年3月期	4,152,820株
2025年3月期中間期	57,008株	2024年3月期	47,436株
2025年3月期中間期	4,081,901株	2024年3月期中間期	4,105,014株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会開催及び決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料については、説明会開催日に合わせて当社ウェブサイトに掲載いたします。( <https://ir.dreambed.co.jp/ja/ir.html> )。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が進み、個人消費並びに堅調なインバウンド需要の高まり等により緩やかな景気の持ち直しが見られる一方で、ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の緊迫化等のグローバルな地政学的リスク、米国による利下げ、及び中国経済の減速等から、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境下において、当社は2023年度から2025年度(2024年3月期～2026年3月期)までの3事業年度を対象とした中期経営計画「Dreambed2025 Change & Challenge Plan」に基づき、企業ミッションである「空環創造宣言」の完成に向け、積極的な取り組みを展開してまいりました。具体的にはマルチブランド戦略として、サータ初のノンコイルマットレス「Serta On a Cloud」の発売開始、サータとパラマウントベッド株式会社とのコラボレーションによる電動ベッドの発売開始、販売チャネルの強化拡大として、名古屋ショールームリニューアルにあわせたロゼショップ「リーン・ロゼ名古屋」の開設、株主還元施策として、50,000株の自己株式取得(取得期間2024年3月～2024年8月)等を着実に実施してまいりました。

この結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高5,379百万円(前年同期比17.7%増)、営業利益290百万円(同288.6%増)、経常利益278百万円(同59.7%増)、中間純利益185百万円(同66.1%増)となりました。

各販売経路別売上高の状況は以下のとおりです。

(家具販売店向け)

家具販売店への集客は回復途上にあります。マットレスについてはサータの各新商品(スイートシリーズ、アリウム、シリウス)の販売が増加するとともに、引き続きラグジュアリーホテルとのコラボレーション企画が対計画比で順調に推移しております。さらにligne roset(リーン・ロゼ)各商品の販売も対前年比で大幅に伸長しており、前中間会計期間と比して477百万円増加し3,934百万円となりました。

(商業施設向け)

当中間会計期間においても、ホテルのリニューアルや新規案件への投資需要は旺盛で受注増加の基調は変わらず、大口案件の獲得もあり、前中間会計期間と比して206百万円増加し536百万円となりました。

(ショップ/ショールーム)

主力商品であるROSETTogo(ロゼトゴ)、ROSETCalin(ロゼカラン)、ROSETPrado(ロゼプラド)の販売が引き続きそれぞれ大幅に伸長しており、加えて2024年6月にオープンしましたリーン・ロゼ名古屋における販売も対計画比で順調に推移しており、前中間会計期間と比して133百万円増加し728百万円となりました。

(ハウスメーカー向け)

ショップ/ショールームとの連携を進めておりますが、前中間会計期間と比して8百万円減少し121百万円となりました。

なお、当社はホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ211百万円減少し10,550百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ201百万円減少し3,862百万円となりました。主な増減要因は、商品及び製品の増加123百万円、売掛金の減少162百万円、受取手形の減少101百万円等であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ9百万円減少し6,687百万円となりました。これは、無形固定資産におけるソフトウェア仮勘定の増加57百万円等がある一方、減価償却の進行に伴い有形固定資産が減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ315百万円減少し6,224百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ160百万円減少し4,071百万円となりました。主な増減要因は、短期借入金の増加243百万円、その他における未払消費税等の増加87百万円、支払手形の減少316百万円、未払金の減少215百万円等であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ155百万円減少し2,153百万円となりました。これは、主に長期借入金の減少100百万円、その他における長期未払金の減少51百万円等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ104百万円増加し4,325百万円となりました。主な増減要因は、中間純利益の計上による増加185百万円、剰余金の配当による減少65百万円減少等であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末に比べ1.8ポイント増加し41.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ51百万円減少し、605百万円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、31百万円(前年同期は672百万円の獲得)となりました。これは、主に税引前中間純利益277百万円、売上債権の減少額263百万円及び減価償却費168百万円等があった一方で、仕入債務の減少額277百万円及び棚卸資産の増加額191百万円等による資金の減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、133百万円(前年同期は751百万円の使用)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出130百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、51百万円(前年同期は256百万円の獲得)となりました。これは、主に短期借入金の純増加額243百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出100百万円及び配当金の支払額65百万円等による資金の減少があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年8月9日の「2025年3月期 第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	706,398	655,394
受取手形	834,306	732,787
売掛金	1,309,702	1,147,423
商品及び製品	720,655	843,924
仕掛品	20,046	26,770
原材料及び貯蔵品	293,605	355,363
前渡金	44,268	67,279
前払費用	119,120	31,223
その他	33,670	18,723
貸倒引当金	△17,000	△16,000
流動資産合計	4,064,775	3,862,890
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,168,199	3,150,858
構築物(純額)	213,474	205,742
機械及び装置(純額)	556,493	508,270
車両運搬具(純額)	8,704	9,096
工具、器具及び備品(純額)	82,357	82,985
土地	2,114,688	2,113,025
リース資産(純額)	11,918	10,204
建設仮勘定	30,216	39,698
有形固定資産合計	6,186,051	6,119,880
無形固定資産		
ソフトウェア	35,505	30,491
ソフトウェア仮勘定	—	57,595
その他	237	237
無形固定資産合計	35,742	88,323
投資その他の資産		
投資有価証券	156,563	144,945
出資金	1,200	1,200
前払年金費用	72,701	86,042
その他	244,843	246,858
投資その他の資産合計	475,308	479,046
固定資産合計	6,697,102	6,687,250
資産合計	10,761,877	10,550,140

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	678,709	362,373
買掛金	277,684	292,075
短期借入金	1,793,000	2,036,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	676,260	460,653
未払費用	101,525	55,693
未払法人税等	65,936	114,622
前受金	151,220	161,156
預り金	30,842	39,014
賞与引当金	182,626	186,296
製品保証引当金	29,100	31,500
リース債務	3,146	1,863
その他	41,883	130,250
流動負債合計	4,231,934	4,071,499
固定負債		
長期借入金	1,800,000	1,700,000
リース債務	8,771	8,340
繰延税金負債	433,781	430,043
その他	65,786	14,640
固定負債合計	2,308,339	2,153,024
負債合計	6,540,273	6,224,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,715	785,715
資本剰余金	718,252	718,195
利益剰余金	2,716,992	2,837,180
自己株式	△35,370	△42,955
株主資本合計	4,185,589	4,298,135
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,014	27,481
評価・換算差額等合計	36,014	27,481
純資産合計	4,221,603	4,325,617
負債純資産合計	10,761,877	10,550,140

## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,572,478	5,379,806
売上原価	2,236,858	2,520,719
売上総利益	2,335,620	2,859,087
販売費及び一般管理費	2,260,804	2,568,328
営業利益	74,816	290,758
営業外収益		
受取利息	38	41
受取配当金	1,363	1,902
為替差益	—	479
保険解約返戻金	108,270	—
雑収入	—	2,499
その他	4,243	1,487
営業外収益合計	113,914	6,411
営業外費用		
支払利息	13,830	17,451
為替差損	162	—
その他	76	743
営業外費用合計	14,069	18,195
経常利益	174,661	278,974
特別利益		
固定資産売却益	149	—
特別利益合計	149	—
特別損失		
固定資産売却損	—	663
固定資産除却損	162	—
会員権解約損	—	1,000
特別損失合計	162	1,663
税引前中間純利益	174,648	277,311
法人税等	62,732	91,437
中間純利益	111,915	185,874

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	174,648	277,311
減価償却費	170,163	168,628
売上債権の増減額(△は増加)	371,378	263,798
棚卸資産の増減額(△は増加)	△155,024	△191,750
仕入債務の増減額(△は減少)	△152,775	△277,598
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,000	△1,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,674	3,670
製品保証引当金の増減額(△は減少)	9,500	2,400
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△51,146
前払年金費用の増減額(△は増加)	△10,007	△13,341
受取利息及び受取配当金	△1,401	△1,944
支払利息	13,830	17,451
保険解約返戻金	△108,270	—
固定資産売却損益(△は益)	△149	663
固定資産除却損	162	—
その他	293,873	△111,289
小計	605,601	85,852
利息及び配当金の受取額	1,401	1,944
利息の支払額	△13,830	△17,451
保険解約返戻金の受取額	108,270	—
法人税等の支払額	△28,851	△38,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	672,591	31,360
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△700	△652
有形固定資産の取得による支出	△655,489	△130,507
有形固定資産の売却による収入	150	1,000
無形固定資産の取得による支出	△10,403	△3,521
敷金及び保証金の差入による支出	△85,259	—
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△751,703	△133,682
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	243,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△170,000	△100,000
自己株式の取得による支出	—	△24,282
配当金の支払額	△61,519	△65,686
その他	△2,244	△1,714
財務活動によるキャッシュ・フロー	256,236	51,316
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	177,123	△51,004
現金及び現金同等物の期首残高	492,160	656,329
現金及び現金同等物の中間期末残高	669,283	605,324

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年3月11日開催の取締役会決議に基づき、当中間会計期間において自己株式31,200株の取得を行いました。

また、当社は、2024年7月17日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役(社外取締役を除く)に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式8,700株、従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとして自己株式13,100株を処分しました。

以上の結果、当中間会計期間において自己株式が7,585千円増加し、当中間会計期間末において自己株式が42,955千円となっております。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社は、ホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社は、ホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。